

鋼の会
和の友
来館
安博

たたら伝承に決意新た

結成20周年記念し「集い」

たたら製鉄の歴史や文化を紹介する安来市安来町の和鋼博物館の応援組織「和鋼博物館友の会」(堀江生悦会長)の結成20周年を記念した集いがこのほど、同館であった。たたらをテーマにしたトークショーや式典を通じ、参加者が和鉄作りの歴史や技の伝承、普及に向け決意を新たにした。

は出雲市出身の映画監督、錦織良成さん(52)と日刀保たたら(奥出雲町)の村下(技師長)、木原明さん(79)が行った。

1994年に243人で発足。たたらに関する公開講座や関連施設見学会、包丁研ぎ教室を催し、現在は県内外の560人が入会している。

たたらを題材にした新作映画「たたら侍」制作を予定する錦織さんは「自然と共生しながら作られ続けた、たたらは日本の宝だ。地域の子どもの誇りになる映画を作りたい」と語った。

集いには会員ら約100人が出席し、トークショー

木原さんは、たたら操業では「精神力や体力を総合した『人間力』が問われる」ともの作りの奥深さ、大変さを説明。後継者育成を含め、引き続き注力する考えを示した。

たたら製鉄をテーマに語り合う木原明さん(左)と錦織良成さん(中央)



式典では堀江会長(64)が

「鋼の歴史を学び、伝えるために和鋼博物館を一層支援していこう」とあいさつ。トークショーで司会を務めた会員の陶山節恵さん(74) || 安来市南十神町 || は「鉄文化を全国の人々に知ってもらえるよう頑張りたい」と話した。